

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[パケットをキャプチャするステップ](#)

## 概要

この資料に SSL アプライアンスのネットワーク インターフェイスによってキャプチャし見られる、パケットキャプチャのための pcap ファイルを記述されていますパケットを生成する方法を。

## 前提条件

この資料の情報はバージョン 3.7.x を実行する SSL アプライアンスから作成されました。この資料で使用された初期（デフォルト）設定からアプライアンスすべては開始しました。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

**警告：** 稼働システムのパケットをキャプチャする場合、ネットワークパフォーマンスに影響を与えることができます。パケットをキャプチャするとき、パケットは廃棄の常にあります。

## パケットをキャプチャするステップ

1. セキュア シェル (SSH) によって SSL アプライアンスにアクセスして下さい。CLI のための資格情報は Web ユーザ ユーザー・ インターフェイスと同じです。

2. キャプチャのための利用可能な インターフェイスを得るために、コマンドを実行して下さい:

```
support> segment all
```

これと同じような出力を見るはずです:

```
support> segment all
```

例は A. の 4 つのインターフェイスを示したものです

3. そこにです次のコマンドで選択したインターフェイス確認しないで下さい:

```
support> capture status
```

何も選択されない場合次の出力を見るはずです:

```
support> capture status
```

4. キャプチャを開始する前に、キャプチャを実行するためにインターフェイスする次のコマンドを実行し、規定する必要があります:

```
support> capture status
```

注 トラフィックをキャプチャすることを試みているインターフェイスと 1,2,3,4 取り替えます。

ステップ 3.を繰り返すことによって設定されます正しいインターフェイスを確認できます。次の出力が表示されます。

```
support> capture status
```

5. キャプチャを開始するために次のコマンドを実行して下さい:

```
support> capture start
```

次の出力が表示されます。

```
support> capture start
```

既にアプライアンスで保存される pcap があれば下記の出力が表示されます:

```
support> capture start
```

ヒント: 入力しない場合、それはキャプチャを打ち切ります。

注 アプライアンスでしか 1 つの pcap を一度に保存できません。

6. キャプチャを停止するために次のコマンドを実行して下さい:

```
support> capture stop
```

下記にのような出力を見るはずです:

```
support> capture stop
```